



**11月**といえば、きのこやサツマイモ！

ポーポキの好物では必ずしもありませんが、まわりの人間はよろこびます。みなさんも美味しい季節の食べ物に恵まれるといいですね。

## Popoki's Hot News!



**12月**のイベントが**2つ**！

**12月10日～11日** 子どもの権利条約フォーラム 2016 in 関西についてです。特に11日の午前、A-7セッション。

**12月14日** ポー年会！ 両方については、**p.9**をご参照ください。



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、および感想をお待ちしています。



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのバシールにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「目標を達成するために、何回頑張っても失敗を繰り返してしまう。でも、次の日朝起きて新しい気分になると、希望が湧いてきて心の平和を感じる。みんなは希望を持つことが平和につながると思いますか。」あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



**灘チャレンジ 2015 のビデオ!!!** ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

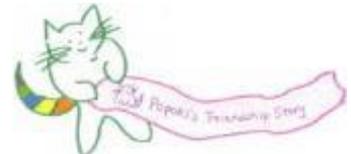


## ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project 10<sup>th</sup> Anniversary



### ポーポキ・ピース・プロジェクト創立 10 周年をどのように記念しましょうか？

- ポーポキ・ピース・プロジェクトができて10年。
- 4冊の絵本。たくさんのにゃん友だち。さまざまなワークショップ。スタディツアー。延べ約200メートルのポーポキ友情物語の布。
  - 数々の笑顔。
- 最初の10年をふりかえり、次の10年に向けてのためにどうすれば良い？みんなの素敵なアイデアをお聞かせください。
  - 今まで出たアイデアはたとえば…
    - 新しいTシャツをつくる
    - グッズ（バッグ、帽子、クリアファイルなど）
      - ポーポキ郵便切手
  - 映画の上映会（原爆を中心？ちょっと高いものとか、数本とか？）
    - ポーポキを語り合うパーティーや合宿
- 子どもの権利条約フォーラム2016の分科会を立ち上げる



あなたの提案は？[ronniandpopoki@gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) へ  
ぜひあなたの素敵なアイデアをお送りください！



# Popoki Work Shop

## “ポーポキの平和と健康”

開催日：2016年10月15日（土）

会場：兵庫医療大学地域連携センター

写真&文：永重 史郎



さとにゃんの職場で“ポーポキの平和と健康”ワークショップをしました。参加者は10名でした（ろにゃん、ポーポキメンバー、一般）。ワークショップは、さとにゃんの Poga で始まりリラックスしたところで、2グループに分かれました。最初のテーマは、“健康に必要なもの”を3つ探すため、2グループで話し合いました。

各々、精神的なもの、物質的なもの等いろいろなアイデアが出てきました。“お金、ゆとり、睡眠、平和、食事、運動、知識”などいろんな意見が出ました。



興味深いことは、皆さんの現在の精神状態が意見に表れているのではないかと思います。

でも、どのアイデアが大事かどうか優先度はないでしょう。それぞれの人が必要と考えられている事を大事にすればいいのではないのでしょうか。なぜなら、人それぞれの歴史があるのですから。

“平和、健康、安心、安全=防災も視点は忘れないことが重要です。

それから、ポーポキ・ピース・ブックをみなさんと朗読しました、それは、大変丁寧に上手に読まれていました。

リラクシングの時間です。全員がキャンパスの海辺に出ました。

快晴で穏やかな海を眺めながらリラックスしていました。この瞬間はまさしく平和と健康を享受しているのでしょうか。この時間が続きますように！！

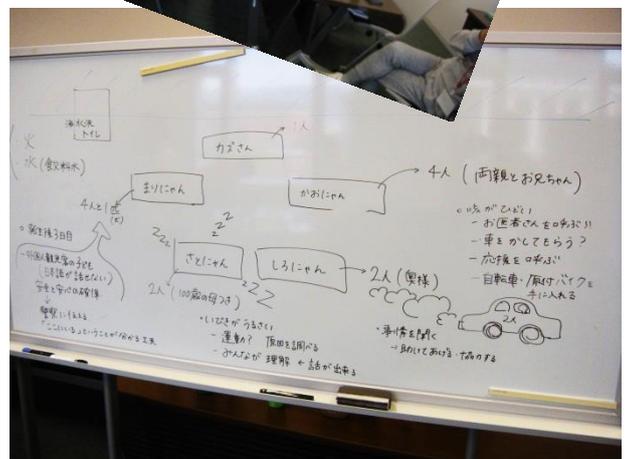
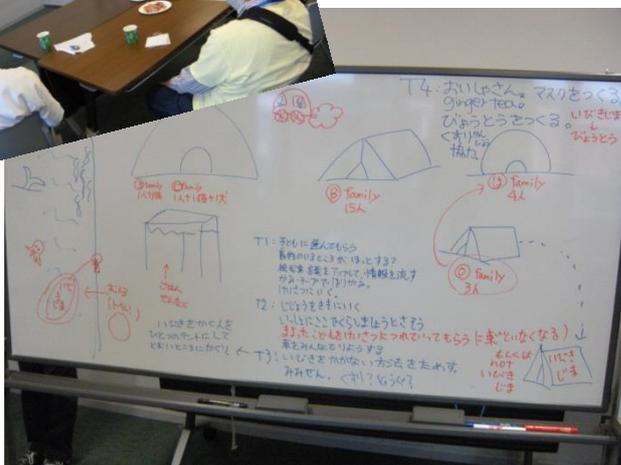


この後、部屋に戻ってワークショップを続けました。テーマは、

“トラブルの解決”。前提は、地震後避難してきた5家族が、避難場所で5つのテントで生活を始める。そこで発生する様々な問題にどのように解決するか、グループでアイデアを考えました。

【トラブルの設定】

- \*コミュニケーションの悩み
- \*隣のテントからのイビキがうるさい
- \*避難してきた車の排気ガスが臭い



【トラブルの解決】

●安心・安全の確保

“お互いのコミュニケーションが無ければ”  
 →不安から健康不良になる  
 →疑心から対立が生まれる



“思いやりが必要”  
 →なぜその状態になったのか、相手の状況を知る  
 →一方的に決めつけない

★今日のワークショップから次のことを学びました。人々はいろんな困難な状況を経て集まってきています。表面的に観るのではなく、心の奥底を観ることが必要です。そうすれば、相互の理解が深まるでしょう。平和と健康についてもっと話しましょう。有難うございました。

今年も網干高校にお邪魔しました！

ろにゃん

今年も神戸大学の大学院生、みひろにゃんと一緒に網干高校におじゃまして、ワークショップをしました。約 30 人の高校生と一緒に平和について考える機会を得ました。まじめでお勉強がよくできるみなさんは、突然にやってきたポーポキに少々戸惑いを覚えていたように思いました。「勉強と全身を使うのは違うのでは？」「お絵描きは子どもっぽいのでは？」など、少々抵抗を感じました。また、「今、日本は平和？」と聞いたら、しっかりと答えを持っていたというより、友だちと一緒に動いていたような気がします。それにしても、日本は戦争をしていないとか、銃殺が少ないとか、自分自身や周りの人はとくに貧しい生活をしていないなどという意見を共有してくれました。そして、みなさんは核兵器の問題や開発途上国、放射能、難民の問題などを身近に感じていなさそうです。最後に時間がなくなり、大変でしたが、それでもお絵かきタイムをがんばってくれました。明るくて楽しい絵が多かったです。最後のまとめの時にちょっとうれしいことがありました。「みなさんにお願ひがあります。今後の平和をつくるためにはどうしても必要なことがあると思います。それは、『話が絶対に通じない』人とも接点をさがし、話ができる人になってほしい」と語りました。この言葉はみんなが真剣に聞いてくれたと思います。そんなわけで、彼らが今後、りっぱなピースメーカーになってくれることを期待しています。授業に参加した先生方、生徒の皆さん、ありがとうございました。

ポーポキ in ピッツバーグ&トロント

ろにゃん

東日本大震災から 5 年半が経ちました。2011 年 4 月初めにはじめたポーポキ友情物語活動は、今も続いています。絵を描き、おしゃべりし、つながっていくことから始まった活動そのものや活動の方法論は、さまざまな形で注目されています。今回は、ろにゃんがアメリカのピッツバーグ大学で活動について講演をすることになりました。そしてそれに続いて、カナダのヨーク大学で開催された学術会議で福島問題について研究報告をしました。以下は簡単な報告です。

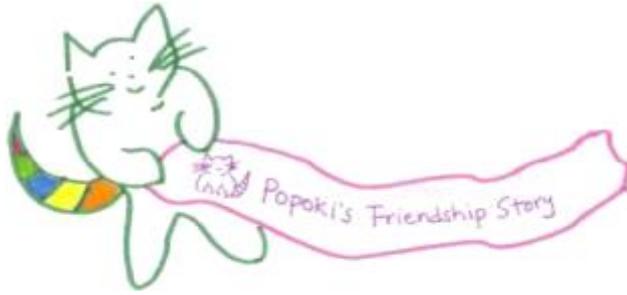
2016 年 11 月 1 日。この日にピッツバーグ大学の Center for Disaster Management と Asian Studies Center 主催の講演会が開催されました。写真などを用いて、ポーポキ友情物語活動の流れと内容、課題について話しました。話の中心は継続的に活動を行っている岩手県上閉伊郡の大槌町です。震災体験や復興を「絵・絵描き」という媒介で表現し、つながっていくことや、絵から始まった関係性が生み出した信頼関係がもたらす様々な物語が注目されました。講演に合わせて、5 枚の写真を展示したいと言われました。結局は 6 枚になりましたが、5 年分の写真の中から、私たちの「物語」を表す写真を選ぶのが大変でした。津波のこと、

大槌町のこと、ポーポキのことなどを知らない人にはどのような「物語」が良いのか。悩みに悩みました。おかげで5年間の活動をふりかえる素晴らしい機会になりました。最終的には、講演も写真も「絵描き」、「学びあう」、「分かち合う」、「動き出す・成長する」、「いっしょに歩む」というふうに分類しました。当日の参加者は真剣に話を聞いて、写真を見て、そしてたくさんの質問をしてくれました。ピッツバーグ大学のみなさん、さまざまなサポートしてくれた Remembering Hiroshima Imagining Peace のみなさん、そしてなによりも大槌町をはじめ、ポーポキの友人のみなさんに感謝します！



11月3日～5日 トロント市にあるカナダのヨーク大学で開催された学術会議「Found in Translation: Cosmopolitics and the Value of Biotech」の二日目に福島第一原発による影響を受けている人々の「物語」を中心に研究報告をしました。ピッツバーグ大学での講演よりは研究発表という色が強いものでした。けれども、ポーポキ友情物語活動を通して確信をもった「物語の重要性」を活かして、除染活動と抵抗運動を中心に話しました。理論的な話が多い会議では、このようなナラティブに基づく発表は少なく、参加者の戸惑いを感じつつ感心を表す人も少なくありませんでした。東日本大震災は北米では「Fukushima」と呼ばれていますが、津波や地震の被害はともかくとして、原発事故が住民・元住民に及ぼしている日常的な影響について考えている人は少なく、そして情報が少ないと感じました。福島第一原発事故のすべてはもちろん、私一人では話せませんが、生活に基づいた問題提起ができたことと思います。今後もさまざまな場において、語り続けることの重要性を感じました。今回の発表に協力してくださった方々、会議に招待してくださったアンナ・アガサンジェルー先生、ありがとうございました！





## \*Popoki's Interview\*

聞き手: さとにゃん

話し手: エール・サポート・センターのみなさま

布を媒体に色々な物語が展開される私たちの友情物語活動は、2011年4月から始まり、今も連綿と続いている。

今回のインタビューの対象となったのは岩手県上閉伊郡大槌町のエール・サポート・センターの「元気おばあちゃん」たちです。ここでの活動は4回目です。しかし、曜日毎に来られる人が違うので、センターの利用者の中でポーポキを知らない人はいるけれど、館長さんもスタッフのみなさん、参加者の何人かはもうポーポキの友だちです。

今回は、ワークショップの中で、将来の大槌の子どもに伝えたいことや残したいものを描いて下さいとお願いして始まった友情物語の布へのお絵かき。Aさんは、黒いマジックで四角い箱を書き始めました。

さ: この箱は何の箱ですか?

A: 新しいお家なの。

四角い箱の中に沢山のマス目が書かれました。その一つに赤で○をして。横に自分の顔も書いてくれました。

A: 私の家は5階なの。遊びに来てね。

さ: 新しい復興住宅ですか?

A: そう。この間入ったところ。とても高いの。一番上の階だから。

さ: 前の家もマンションだったのですか?

A: 前は一戸建ての家だったわ。

さ: 海の近くなの?

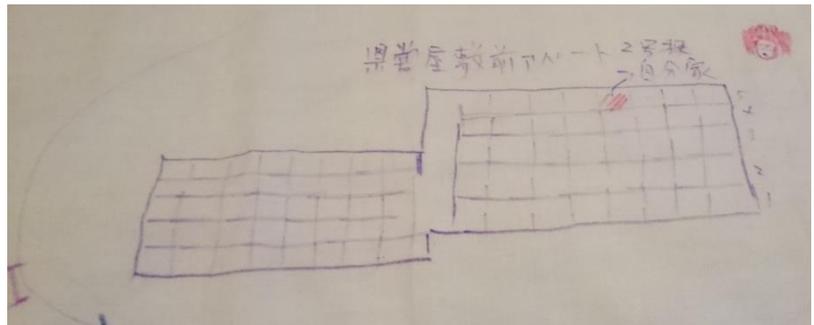
A: 海がとても近くて、毎日海を見て暮らしていたの。とても広くて庭もあって、楽しくて綺麗な家だったわ。でももう無いの。

さ: 今の家から海は見えますか?

A: 山の方だから見えない。

さ: 海の見える家の方が良いですか?

A: 海はなくて良いわ。庭もないけれど。遊びに来てね。住所も書いておくから。

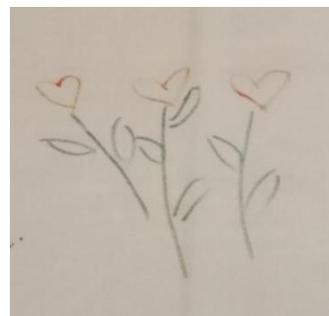


Bさんは、時計を一生懸命書いてくれました。  
さ：とても素敵な時計ですね。



B：時間がね、とても大切なの。色々な事を考える時間。色々な事を忘れる時間。時間が経つと色々な事が変わっていくし、でも、その一瞬一瞬がとても大切だと言う事を伝えたいの。その時間の中にいるときには気がつかないけれど、本当はそんな何でもない時間がとても大切だと言う事を、やっぱり伝えていきたいの。

その方は、時計の周りに花を一生懸命描いてくれました。



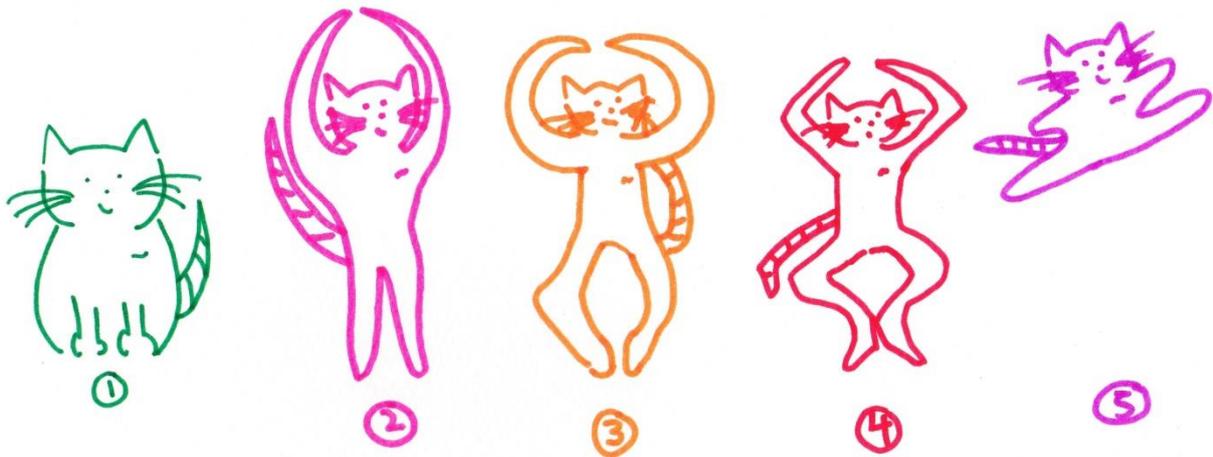
エール・サポート・センターには自宅も家族も失った方が多いけれど、とても穏やかな顔で、集まった皆さんが色々な話しをしたり、私たちに話してくれたりしながら、布が絵で埋められていきます。また布の物語が増えました。



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 102

今月のテーマは秋のはっばたち！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、まずはたって、手もしっぽも頭の上にあげて、細長いはっばの形をつくりましょう。秋の色を想像してね。
3. 次は、さくらのはっば。さくらのはっばの丸みを出すように、手も足も少し丸めてね。あなたがつくったはっばは、どんな色でしょう？
4. 今度は、もみじ！ひじやひざではっばのとんがったところを作りましょう。あなたのもみじはどんなもの？もみじの色はどれくらい想像できますか？
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！  
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：12月14日 19:00 ポー一年会で！

- \* 11月28日 17:00～18:30 ポーポキのともだち、赤城修二さんが神戸大学に来て、公開講演をします。神戸大学六甲台第一キャンパス アカデミア館707。\*
- \* 11月29日 13:20～16:40 ポーポキの友だち、Dr. Michael Lujan Bevaqua & Mr. Ed Alvarezはろにゃんのゼミに来て、グアムの脱植民地化についてお話しします。\*
- \* 12月10月～11日 子どもの権利条約フォーラム in 関西参加。ポーポキの分科会A-7は12月11日の午前中に開催されます。ろにゃんがファシリテーターです。参加費：25歳以下 無料 / 26歳以上 2000円(二日間)。事前申し込みが必要ですが、団体申し込みをしますので、11月20日までに林に返事をしてください。URL: <http://kodomonokenrikansai.wixsite.com/network>; FaceBook: <https://www.facebook.com/kodomokenri2016/> \*
- \* 12月14日 ポー年会!!! ネパール料理 サーランギ (神戸市中央区元町駅近く)。\*
- \* 2017年2月2日～6日 ポーポキ in 大槌町(予定)\* \*これらに参加希望の方はろにゃんまで。

# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange  
<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色?』「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになつてくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きください。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8. 10面





# 私にとってのポーポキ

いえににゃん



インドネシアよりこんにちは！お元気ですか。みなさんが健康で無事に過ごしているといいですね。この文章を書きながら、私はポーポキの思い出を振り返っています。ポーポキやにゃんたちとの良い思い出がたくさんあって、みなさんに会いたくなってきました。私のことも含めて、色々なことに興味津々で元気な猫、ポーポキとの出会いは、昨日の日のように思い出します。ポーポキはよく私の好きな色、私の感情、そして時には真剣に、平和について質問してきました。最初の頃は、私はこれらの質問は、人を思いやる行為と思っていました。しかし徐々に、これらの質問に答えることで、私の思いや感情を周囲と共有しているのだということに気づきました。

日本で勉強した一年間、ポーポキ・ピース・プロジェクトを通じて、たくさんの経験をして、たくさんの知識を得ました。そして、大切なにゃんたちやポーポキの友だちにも出会えたことに感謝しています。現在の世界情勢を見ると、ポーポキが私たちに対して思っている以上に、私たちはポーポキを必要としているのだと思います。この可愛らしい猫はいつも私たちに友情の素晴らしさや平和の大切さを思い出させてくれるのです。

Peace, Love and Respect,  
イエニにゃん

## さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!